

科目進捗と各学年の到達目標(令和5年度以前入学生及び令和7年度編入学生)

区分	学年	1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター		3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
基礎科目	人間と文化	哲学 文学	芸術 心理学 ジェンダーとセクシュアリティ	生命倫理学	文化人類学				
	人間と環境	化学 生物学 生活環境論 人間工学	地球環境論						
	人間と社会	日本国憲法と人権 社会学 人間関係論 スポーツと健康	人間と歴史	教育学	国際社会の動向				
	人間と言語	英語 I	英語 II トータルコミュニケーション	英語 III 中国語 ドイツ語		英語 III			
	アカデミックスキル	情報リテラシー 基礎ゼミナール I	情報リテラシー演習 基礎ゼミナール II	統計学					
専門基礎科目	社会と医療のしくみ		公衆衛生学	社会保障論 ヘルスプロモーション論	関係法規 疫学・保健統計 保健医療福祉行政論	学校保健と産業保健 チーム医療論			
	生命と発達	人体の構造 I 人体の構造 II	人間発達論 生化学 遺伝学 栄養学 人体の機能 I 人体の機能 II	臨床心理学					
	健康障害と治療		微生物学	病理学 病態治療学 I 病態治療学 II 薬理学	病態治療学 III 放射線と看護 東洋医学と経絡 音楽療法				
専門科目	看護の基盤となる科目	看護学原論 日常生活援助論	看護理論 診断-治療援助論 基礎看護学実習 I 実践看護学概論	看護過程展開論	看護倫理 基礎看護学実習 II				
	看護実践を支える科目			フィジカルアセスメント 母性看護支援論 小児看護支援論 成人看護支援論 高齢者看護支援論 メンタルヘルス看護支援論 家族看護支援論	公衆衛生看護支援論 急性期看護援助論 慢性期看護援助論 リハビリテーション看護援助論 がん看護援助論 公衆衛生看護方法論	終末期看護援助論 在宅看護援助論 精神看護援助論 実践看護学演習 I 実践看護学演習 II	地域診断	公衆衛生看護活動展開論	
	看護実践科目	ふれあい実習					母性看護学実習 小児看護学実習 急性期看護学実習 慢性期看護学実習 高齢者看護学実習 在宅看護学実習 精神看護学実習		公衆衛生看護学実習
	看護の統合と発展					国際看護学 災害看護学 看護研究方法論		看護管理 公衆衛生看護管理	総合実習 看護専門職論 卒業研究
各学年別到達目標	DP1	多様な価値観や人生観に触れるとともに生活者の視点で人々の生活や環境を捉え、看護の対象となる人間を理解する。 人間関係を形成するための基礎的な知識を修得する。	人間の尊厳や人権および看護職者の責務と役割について理解する。 倫理的課題を見出し解決するための能力を修得する。	看護者の責務と役割に基づき、人間の尊厳や権利を尊重した行動がとれる。 倫理的な課題を見出し、解決するために考え行動できる。	豊かな感性と倫理観に基づく看護を実践できる。				
	DP2	人体の機能と構造に関する知識を身につける。 看護の本質、看護の役割と機能、看護の方法論に関する基礎的知識・技術・態度を身につける。	病態と治療に関する知識を身につける。 課題解決技法の基本を踏まえて、多様な健康レベルと看護の場にある対象のニーズに合わせた看護を展開する基礎的能力を修得する。	多様な健康レベルと看護の場にある対象に、科学的・専門的な知識と技術および態度を統合し、実践へ適用する能力を身につける。	看護の対象を総合的に理解し、科学的な知識・技術に基づいた看護を実践できる。				
	DP3	協調性を身につける。 グループの中で責任ある行動がとれる。	他職種の機能と役割に関する知識を身につける。 看護の役割と独自性について理解する。	保健・医療・福祉チームの一員としての自覚をもち、報告・連絡・相談ができる。 グループメンバー内で協力し、リーダーシップ、メンバーシップを発揮できる。	保健・医療・福祉チームの一員として、看護の役割と責任をもって協働できる。				
	DP4	主体的な学びとは何かを考えて行動できる。 必要な情報を適切に入手し活用することができる。 様々な意見や考え方を客観的・批判的・多角的な視点で捉え、自分の考えを論理的に主張できる。	生涯に渡る自己研鑽の必要性を理解できる。 自己教育力を高める方法を理解し、個々が実施可能な方法を検討し実践できる。	課題に対して、自ら幅広く多様な情報を収集し、課題解決に向けて行動できる。	主体的学修能力を身につけ、看護の発展や質の向上に貢献できる。				
	DP5	国際社会で必要となる英語力を身につける。	国際社会で必要となる多様な言語を身につける。 多様な文化的背景を持つ人々を理解する。 国際社会における保健・医療・福祉の現状と課題について理解する。	国際社会における健康課題と戦略を理解する。 国際的視野から看護専門職に求められる役割や責任を理解する。	国際的視野を持ち看護を実践できる。				